

授業科目	* 疾病学総論				単位	1				
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免			ナンバリング	NU11105J			
開講年次	1年	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1					
担当教員	工藤 二郎									
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>看護者が対象者の健康障害をアセスメントし、必要な計画を立案・実施していくためには、健康な人体の構造と機能の理解を前提に、健康障害を起している疾病そのものの理解が必要となる。さらに、健康障害の程度や今後予測される問題をアセスメントするには、その病態生理を理解することが重要である。この科目では疾病の成り立ちに関わる基本的な病態の捉え方、考え方、病態発生のメカニズムと画像、および疾病に対する治療の基礎を画像や動画を用いながら講義する。</p> <p>実務家教員として、病院で長年臨床を行ってきた経験を生かし、具体的な症例について講義や討論を行う。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<p>1. 変性、炎症、循環障害、腫瘍、など臓器を超えた病気の概念を学習し、それぞれを説明できる。</p> <p>2. 循環器、呼吸器、消化器、内分泌、造血器、神経、泌尿器、生殖器、運動器など個々の臓器の疾患と治療法の概要を理解し、キーワードや特徴的な画像について正確に記述や説明ができる。</p>									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	95	0	0	0	0	5	100			
知識・理解 (DP1-1)										
知識・理解 (DP1-2)	75						75			
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)	20					5	25			
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)										
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
教科書に記述された病態についての医学・看護学用語や画像が正確に理解され記憶されており、現実の患者と対応した時それらを基盤に医療グループ内で議論ができる。					教科書に記述された病態についての医学・看護学用語や画像がおおよそ60%~80%、正確に理解され記憶されている。					
授業計画										
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)			予習・復習時間(分)	
1	細胞と組織の構成、その障害、壊死とアポトーシスについて			講義と専門用語のノート整理		教科書の講義部分と整理ノートを読み返す			45分	

2	創傷とその修復、化生と肥大の概念、血液やリンパの循環障害について	講義と専門用語のノート整理	各回に指示のある教科書の部分を事前に読んでおくこと。	45分
3	炎症とはどのようなものか、免疫とアレルギーの成り立ち、移植免疫について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
4	感染症とは何か、敗血症、免疫不全状態での感染、日和見感染、菌交代、感染防御について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
5	代謝異常、ことに脂質、糖質、蛋白、核酸の代謝障害について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
6	老化とはなにか、神経、骨、感覚器の老人性変化と疾患	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
7	新生児の疾患、先天異常の概念とその機序について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
8	腫瘍の定義と分類、発生機序、生命の危機、ショック、バイタルサイン等について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
9	循環器疾患、虚血性心疾患、心内膜炎、弁膜症、心不全、血管疾患について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
10	呼吸器疾患、呼吸不全や肺炎、肺がん、口腔疾患について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
11	消化器疾患、上部および下部消化管の疾患、肝臓、膵臓の疾患について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
12	内分泌疾患、脳下垂体、甲状腺、副腎、膵臓、性腺等の疾患について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
13	造血器系の疾患、貧血、白血病、骨髄腫、リンパ系疾患および腎、尿路系疾患、男女の生殖器疾患について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
14	脳・神経系、ことに脳血管疾患や変性疾患、脳腫瘍。運動器疾患、骨折、関節、脊椎、筋肉 および感覚器と皮膚科疾患について	講義と専門用語のノート整理	同上	45分
15	医療の歴史について	講義と議論	ネットなどで情報を仕入れる	45分
16				
17				
18				
19				
20				
21				

22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	高校で学習したの生物と化学の知識			
テキスト	「カラーで学べる病理学」および「病理学整理ノート」(廣川書店)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	中野昭一編「病気の成り立ちとからだ」病態生理症候編、疾患編、医歯薬出版 近藤和雄ほか編集、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」総論、各論Ⅰ、各論Ⅱ、南江堂 奈良信雄「エッセンシャル人体の構造・機能と疾病の成り立ち」医歯薬出版株式会社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	1. ジャーナルやテレビ、インターネットなどで病気について関心を高めてください。 2. 分からないことを質問したり図書館で調べたりしてください。 3. 看護師国家試験問題を試すと知識と理解の参考になります。 4.正しい知識をうるため予習、復習をして下さい。			
達成度評価に関するコメント	その他の評価として、授業の途中や終了後に複数回質問をする方は高く評価され、5%の点数が追加されます。 質問者には ID 番号をお聞きします。また、試験の記述問題で教科書以上に詳しく記載された方は高く評価されます。			